

2018年度児童発達支援事業 自己評価 検討結果

事業所名：幼児グループわんぱく

検討日時：2019年01月11日（金曜日）

	工夫している点	課題	改善目標
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭、ホール、和室と遊びスペースが複数あることで、活動内容によって場所を使い分けし、過ごし方を状況によって変えている。 ・体を使って遊ぶよう、園庭にはタイヤやベニヤ板を使ったアスレチックや部屋ではサーキットブロックを用いて全身運動が出来るよう努めている。 ・和室は机上の遊び等、静の遊びが出来るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の広さについて、最低限の基準は満たしているが、年長児が体を動かしてめいっぱい遊べるほどの広さは確保できていない。 ・民家なので仕方ない部分があるが入り口から玄関までに急な階段がある。 ・おもちゃを置く位置等子どもが使いやすいよう工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の選定等を工夫することでめいっぱい遊べる環境になるよう努めていく。 ・手すりの設置を検討。 ・園庭、部屋共に、おもちゃ用のかごに写真を貼り、分かりやすく分類し、子どもが自分で出し入れしやすいようにしていく。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・月目標に基づき活動を行い、毎週末のまとめ、月末のまとめを行い、療育の振り返りを行い、翌週、次月の活動内容や支援内容について話し合いを行っている。 ・職員、アルバイトスタッフの資質向上を目的として、定期的に研修及び、学習会を実施。毎月1回ケース検討会議もしている。職員は外部研修にも参加している。 ・平成29年度に第三者評価を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の話し合いで抽出した課題について、全アルバイトスタッフに周知しきれていない部分がある。 ・学習会やケース検討会議に参加できなかったアルバイトスタッフの内容の周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等の資料を全スタッフに配布し、資料閲覧済みのサイン欄を設けて、内容の周知、共有を図る。 ・学習会やケース検討会議の日程設定を固定曜日にせず、年間を通してバランスよく参加できるような日程にする。
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より新規の子どもに対して「KIDS乳幼児発達スケール」を保護者の方に記入してもらい、アセスメントとして活用している。 ・個別支援計画作成にあたっては、保護者に「予備調査票」を配布し、保護者のニーズの把握を行い、半期に1度の頻度で見直し、面談を行っている。 ・日々の療育の前後に支援者間で打ち合わせ、終礼の時間を設け、活動内容の共有、振り返り等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の内容について、アルバイトスタッフへの情報周知の難しさがある。 ・個別指導、小集団の言語指導を開始したが、1人辺りの回数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトスタッフも支援計画を確認しながら日々の記録を記入できるようにしていく。 ・個別指導、小集団の言語指導については、1人当たりの回数は少ないが、個別指導になったことで、個々へのニーズに応えられる内容になっていくと考えている。
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園等の先生の来訪、またはこちらから幼稚園等に訪問する機会を設け、情報共有と共に、必要に応じて支援の方法などを伝え連携を図っている。 ・就学を控える年長児については就学先への紙面での情報提供や就学先の先生が来訪し情報共有を行っている。 ・児童発達支援センターが主催の研修や連絡会、自立支援協議会に参加し他施設間との連携を行っている。 ・保護者とは連絡帳、送迎時にその日の療育の様子を伝えている。月に1～2回発行する活動内容を伝えるおたより、母子通園、面談、年2回の保護者会などを通して、様子を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育所等との交流や障がいのない子どもと活動する機会が設けられていないのが現状。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、療育内容に地域の子どもの交流を組み込んでいけるか検討していく。
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に利用料金等についての説明を行っている。 ・年2回保護者会を実施し、その中で療育内容についてや加算の変更等があった場合説明を行っている。 ・平成30年度より保護者同伴通園を開始し、療育中の子どもの様子を伝えたと共に、家庭の様子もわかり、家庭との連携を密に取れるような体制を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、何回かあった保護者向けの学習会を開催して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士、公認心理師、保育士など様々な立場の職員を配置しているので、専門的な助言が出来るよう体制を検討していく。
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回、地震、火災、不審者侵入を想定した避難訓練を実施している。 ・食物アレルギー、てんかん発作、服薬については、毎年年度初めにアンケートを実施している。必要に応じて、災害用に薬を3日分預かっている。預かっている薬は定期的に内容を確認している。 ・災害時に備えて、発電機、火災報知器、消火器、ヘルメット、備蓄品(食料、飲料水、オムツ、毛布、軍手、新聞紙、電池、救急セット、簡易トイレ)等常備し、年3回点検を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は実施されているが、毎日通所しているわけではないので、利用がない日の実施だと訓練に参加できない。 ・保護者からすると災害伝言ダイヤル以外に具体的にどのような訓練等が行われているか分からない。 ・保護者に「災害時における避難対策について」の周知が出来ていない。 ・危機管理マニュアル、感染症対策マニュアルなど現存しているが、全アルバイトスタッフへの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の年間計画を立てる時点で、曜日が固定することなく各曜日で実施できるよう検討していく。 ・年度初めの保護者会で全保護者に、「災害時における避難対策について」を配布、説明して、内容の周知に努める。 ・危機管理マニュアル、感染症対策マニュアル等の見直しを行い、アルバイトスタッフに周知出来るよう、学習会等の機会を設けて全スタッフに資料の配布、説明を行う。